

運営主体一元化に向けて準備を開始します

▶▶▶ 運 営 主 体 一 元 化 ◀◀◀ 町立診療所 × 隠岐病院

隠岐の島町・隠岐広域連合

隠岐の島町と隠岐広域連合では、隠岐の島町の医療従事者不足や医療機関の効率化への対応について、町内の医療関係者で構成された医療連携体制検討委員会で検討を行いました。その結果、隠岐の島町における持続可能な医療提供体制の整備を図る観点から、運営主体を一元化することが望ましいとの判断に至り、隠岐の島町立診療所等と隠岐広域連合立隠岐病院の運営を隠岐広域連合立に一元化する方向で検討を開始しました。

一元化の目的

医師をはじめとする医療従事者の人材不足が続いている中、少子高齢化が進み医療と介護を必要とする後期高齢者が増加し、在宅医療の需要も増加しています。限られた医療資源の中で、必要な医療サービスが効率的・継続的に、また一体的に提供される体制の整備が必要となっていることから、隠岐の島町において行政が担っている医療提供体制の一元化を図ることを目的とします。

一元化の時期

令和6年4月1日を予定しています。

一元化の目的

Q1：診療所の診療内容(職員体制・診療日数等)に変更はありますか？

⇒ 一元化時には診療内容(職員体制・診療日数等)の見直しは行いません。

Q2：医師や看護師は変わりますか？

⇒ 基本的には現在勤務している職員が引き続き勤務しますが、人事異動に伴う変更はあります。

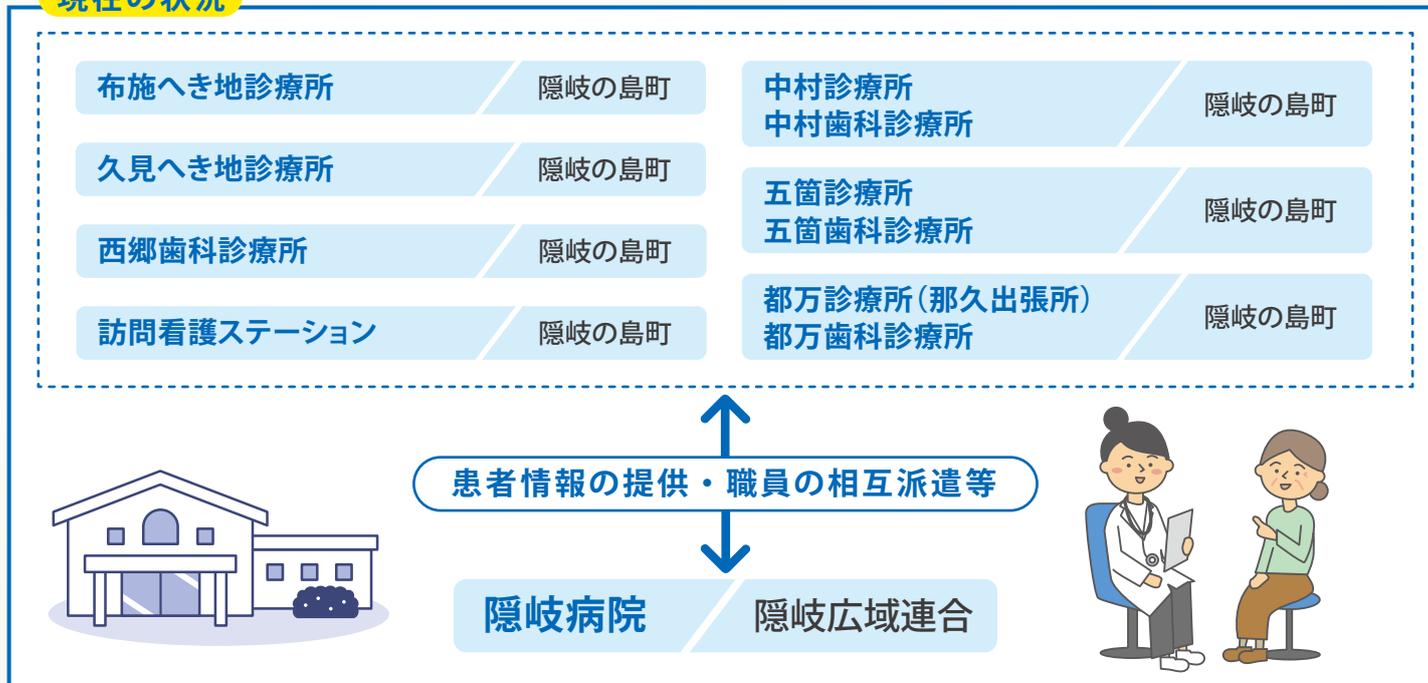
Q3：メリットはなんですか？

- ⇒ ①医療従事者の交流・支援等の実施により、柔軟な診療体制(医師、看護師の不在時の対応、隠岐病院医師による診療所の診療等)の構築が可能となります。
- ⇒ ②医師をはじめとした医療従事者の働く場としての選択肢が広がることによって、特に医師招聘が容易となることを期待できます。
- ⇒ ③隠岐広域連合立隠岐病院と隠岐の島町立診療所が同じ組織となることで、電子カルテシステム等の一元化が可能となり、患者様の疾病情報などがリアルタイムで共有できるなど、更に連携が強化できます。
- ⇒ ④入院から退院、在宅療養に向けて、一貫した継続的な医療の提供が期待できます。
- ⇒ ⑤診療材料や医薬品及び医療機器が共有でき、効率的な運営が可能となります。
- ⇒ ⑥どの地域でも同様な医療の提供が期待できます。

一元化のイメージ

医師をはじめとする医療従事者の人材不足が続いている中、少子高齢化が進み医療と介護を必要とする後期高齢者が増加し、在宅医療の需要も増加しています。限られた医療資源の中で、必要な医療サービスが効率的・継続的に、また一体的に提供される体制の整備が必要となっていることから、隠岐の島町において行政が担っている医療提供体制の一元化を図ることを目的とします。

現在の状況



◆関係地区説明会を開催しますので、ぜひご参加ください!

前述した内容についての関係地区説明会を開催します。開催日時等の詳細については、お知らせ便及びホームページでお知らせします。

お問い合わせ先 **病診一元化準備委員会** (隠岐広域連合事務局総務課内) TEL : 6-9150